

令和4年度
卒業生向けアンケート調査
結果報告書

令和4年8月

新潟工業短期大学

広報・就職支援センター 就職支援室

目 次

I. 卒業生向けアンケート調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査対象及び調査方法	1
3. 調査時期	1
4. 調査内容	1
5. アンケート回収状況	1

II. 調査結果

(1) どの程度本学で身に付いたか	2
(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか	4
(3) 社会に出てから取得した資格	4
(4) 学生生活全般について有意義だったか	4
(5) 本学を勧めたいと思うか	5
(6) 本学に対しての意見	5

III. おわりに	5
-----------	---

1. 卒業生向けアンケート調査の概要

1. 調査目的

新潟工業短期大学の授業カリキュラムの充実を図るため、本学の卒業生を対象に、本学で身に付いた事柄やその程度、教育内容で強化すべき分野等を調査した。

2. 調査対象及び調査方法

卒業して3年目（令和2年3月卒業）の者に対して、卒業時採用企業に在籍している者は企業経由でアンケートを渡し、事前に退職が確認された者は実家住所に送付した。

対象者数82名

3. 調査時期

令和4年7月

4. 調査内容

(1) 授業他の下記8項目について、どの程度本学で身に付いたか

- ①仕事に必要な各種の資格
- ②仕事に必要な知識や基礎学力
- ③仕事における職務遂行能力
- ④協調性・コミュニケーション能力
- ⑤責任感・粘り強さ・誠実性
- ⑥パソコン操作等のスキル
- ⑦キャリアデザイン
- ⑧全体的

(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか（下記9項目）

※複数回答

- ①文科系（哲学・文学など）、②社会系（会計学・経済学）、③自然系（数学、物理学）
- ④専門科目A（教室での講義）、⑤専門科目B（実験・実習）、⑥幅広い教養（国際・情報・環境・人間など）、⑦社会常識（挨拶・礼儀作法）、⑧自動車整備士以外の資格、⑨その他

(3) 社会に出てから取得した資格

(4) 学生生活全般について有意義だったか

(5) 身近に自動車及び工業系への進学を考えている人がいたら本学を勧めたいと思うか

(6) 本学に対しての意見

5. アンケート回収状況

回答者数：40名（回答率48%）

※退職者数：7名

II. 調査結果

(1) どの程度本学で身に付けたか

①仕事に必要な各種の資格

仕事に必要な資格が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」が47%と高く(昨年30%)、「まあまあ思う」が45%だった。9割以上の卒業生から「仕事に必要な資格が身に付いた」と回答が得られた。反面「どちらとも言えない」が5%、「思わない」が3%の回答だった。(図1)

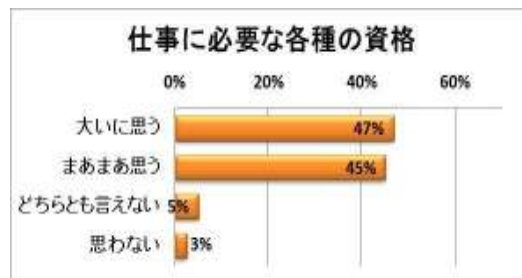


図1 資格が身に付いたかに対する回答

②仕事に必要な知識や基礎学力

仕事に必要な知識や基礎学力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が38%、「まあまあ思う」が35%となっている。また、「どちらとも言えない」とする割合は20%、「思わない」とする割合は7%であった。(図2)
昨年は8割の卒業生から「仕事に必要な知識や学力が身に付いた」という回答が得られたが今年若干ポイントを落としてしまった。

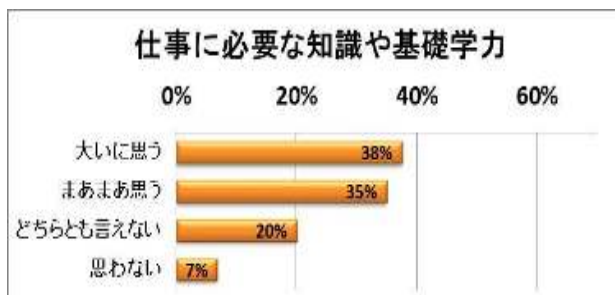


図2 知識、学力が身に付いたかに対する回答

③仕事における職務遂行能力

仕事における職務遂行能力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が30%、「まあまあ思う」が45%で7割以上の卒業生から「仕事における職務遂行能力が身に付いた」という回答を得たが「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合は18%、7%であった。(図3)
「わからない、身に付いたと思わない」とする25%を留意する必要がある。



図3 職務遂行能力が身に付いたかに対する回答

④協調性・コミュニケーション能力

協調性・コミュニケーション能力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が43%、「まあまあ思う」が43%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ11%、3%である。(図4)

8割以上の卒業生から「協調性・コミュニケーション能力が身に付いた」という回答を得ることができた。特に「大いに思う」が昨年を10%以上伸長させた。

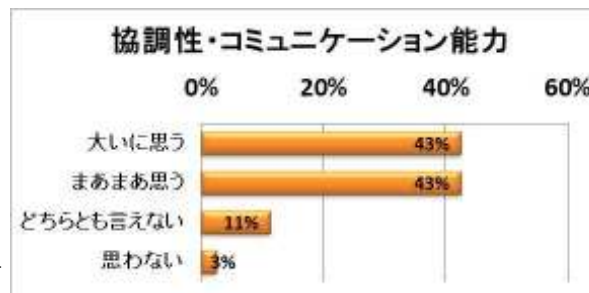


図4 協調性・コミュニケーションが身に付いたかに対する回答

⑤責任感・粘り強さ・誠実性

責任感・粘り強さ・誠実性が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が38%、「まあまあ思う」が40%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ18%、4%である。

(図5)、約8割の卒業生から「責任感・粘り強さ・誠実性」が身に付いたという回答が得られ、昨年を10%伸長させた。



図5 責任感・粘り強さ・誠実性が身に付いたかに対する回答

⑥パソコン操作等のスキル

パソコン操作等のスキルが身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が13%、「まあまあ思う」が35%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ34%、18%である。

(図6)、約5割の卒業生より「パソコン操作等のスキルが身に付いた」という回答が得られたものの「身に付いたと思わない」とする回答も18%あり(昨年10%)留意する必要がある。



図6 パソコン操作等のスキルが身に付いたかに対する回答

⑦キャリアデザイン

キャリアデザインが役に立ったかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が38%、「まあまあ思う」が50%となっている。「どちらとも言えない」が12%、「思わない」とする学生は今回もいなかった。

(図7)、9割弱の卒業生から「キャリアデザインが役に立った」という回答が得られた。特に「大いに思う」が昨年12%伸長した。

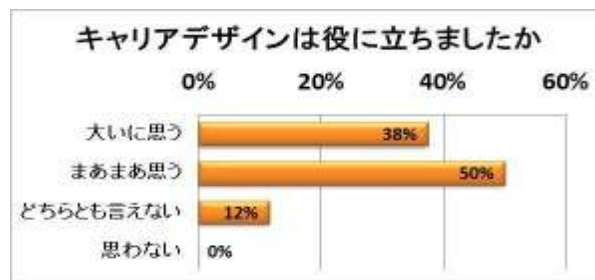


図7 キャリアデザインが役にたったかに対する回答

⑧全体的

本学で学んだことは全体的にどの程度仕事の役に立っているかについて4段階で尋ねたところ「大いに思う」とする割合が27%、「まあまあ思う」が50%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ20%、3%である。(図8)

8割弱の卒業生から「本学で学んだことは仕事の役に立っている」という回答が得られた。

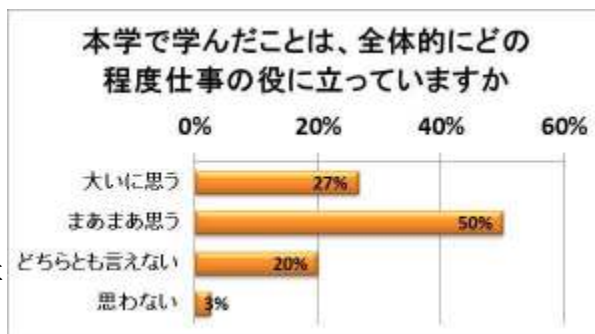


図8 本学で学んだことは仕事の役に立っているかに対する回答

(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか

今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか（複数回答）について尋ねたところ、「社会常識（挨拶・礼儀作法）」が43%で最も高く、次いで「専門科目B（実験・実習）」が38%だった。以下、「専門科目A（教室での講義）」が18%と続きアンケート調査以来初めて「社会常識」が「専門科目B」を上回る形になった。（図 9）

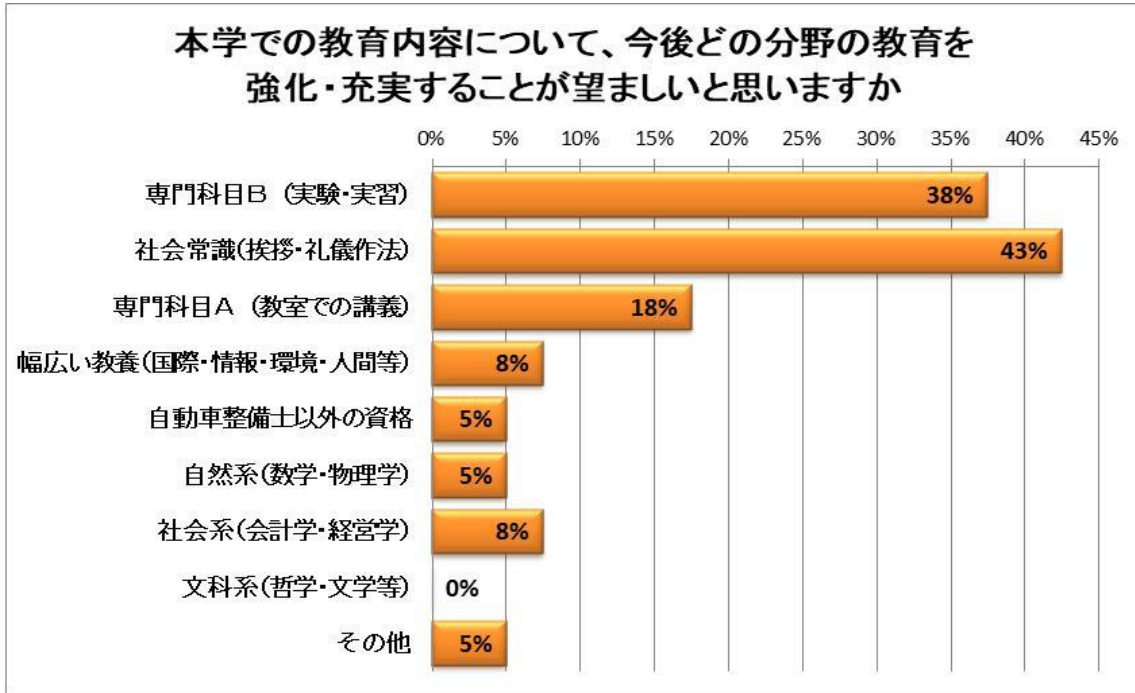


図 9 どの分野の教育を強化・充実することが望ましいかに対する回答（複数回答）

(3) 社会に出てから取得した資格

社会に出てから取得した資格について尋ねたところ、運転に関する免許は「中型自動車」(4)、「大型自動車」(3)、「準中型自動車」(1)、「大型特殊」(4)、「けん引」(1)、フォークリフト(1)、整備に関する資格は「自動車保険」(2)、「社内検定資格」(5)、「玉掛け」(5)、「自動車救護士」(1)、「タイヤ空気圧充填」(2)、「特定検査員」(2)、「アーク溶接」(1)、「フルハーネス」(1)、「クレーン等」(4)、であった。

※（ ）内は人数

(4) 学生生活全般について

学生生活全般が有意義だったか5段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が55%、「まあまあ思う」が35%となっている。「どちらかと言えばそう思う」が10%でありほとんどの卒業生が「学生生活全般有意義だった」と回答している。（図 10）

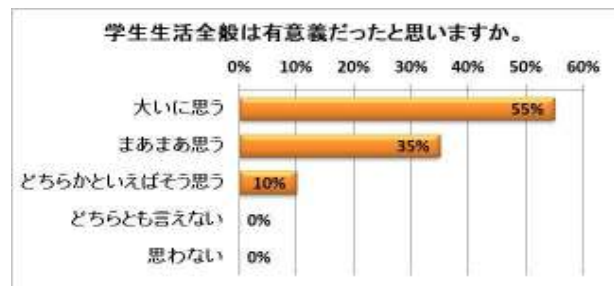


図 10 学生生活全般について有意義だったかに対する回答

(5) 本学を勧めたいと思うか

身近に自動車及び工業系への進学を考えている人がいたら本学を勧めたいと思うかについて5段階で尋ねたところ、「ぜひ勧めたい」が12名、「一応勧めてみる」が13名、「紹介程度ならする」が12名となっている。しかし「わからない」が2名、「勧めない」は1名の回答があった。(図 11)

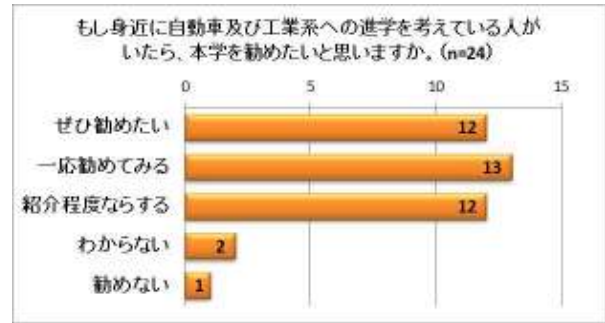


図 11 本学を勧めるかに対する回答

(6) 本学に対しての意見

- ・ 頑張ってください。(W) ・ 元気でやっています。(T)
- ・ EVの勉強を強化してほしいです。(R)
- ・ 電気自動車などの整備を行った方が社会に出てから役に立つと思いました。(H)
- ・ 海に近いという他の学校では味わえない特別な環境の中、とても良い友人とも出会い、新潟まで行った甲斐がありました。(N)
- ・ この2年間は本当に有意義な学生生活でした。実験、実習でもどの先生もやさしく、丁寧に教えて下さり助かりました。ありがとうございました。輸入車の実習車が1台あれば良いなと思いました。(K)
- ・ 社会に出てから日々仕事と自分に向き合いながら奮闘しております。多々壁に当たりながらも学生時代に学んだ事を糧にして地道な努力と向上心を忘れずに、これからもプロフェッショナルを目指して精進して参ります。(S)

III. おわりに

卒業生向けアンケートは毎年実施しており今後も継続して実施する予定である。昨年度の結果と比較して今年度の傾向に顕著な差は見当たらないが、全体的に満足度が向上しているようである。但し「(1)どの程度本学で身に付いたか」の「⑥パソコン操作等のスキル」に対する回答を見ると今回は「スキルが身に付いた」より「身に付かなかった」割合が大きく種々の教育の中でパソコン操作を身に付けさせる工夫が必要であると思われる。また「(2)今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか」の問いに、初めて「専門科目」より「社会常識(挨拶・礼儀作法)」がトップに立った。このことから今後は高い技術力と常識・教養などを授業に生かして多くの卒業生の満足が得られる大学を目指して取り組むことが望まれる。

令和4年8月22日
新潟工業短期大学
広報・就職支援センター 就職支援室